令和7年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I	学年	第1学年	学科 種類	商業科
単位数	4単位	教科書	FLEX English Communication I (増進堂)				
副教材	WORDBOX Essential (美誠社)、ラーナーズ高校英語 (数研出版)、21ラーナーズ英文法 (数研出版)						

学習目標	「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の五つの領域の能力を伸ばすことを目的としています。そのため、「英語の特徴やきまりに関する事項」「情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項」「言語活動及び言語の働きに関する事項」について学びます。
------	--

キャリア教育の視点	英語を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション力を付けることで、グローバル化が急速に進む国際社会において役立つ力を身に付けます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	Lesson 1 How can We Become Stronger	松岡修造の言葉を通して、失敗や困難に遭遇したときに、その経験が自分を強くするという意義を理解して対処することを学びます。 ある実験を通して、高校生の生活の中で何を優先させて時間を使うべきかを考えます。 エネルギーの問題点からJAXAについて学び、その課題を考えます。	中間考査
	5月	Lesson 2 The Jar of Life		
	6月	Lesson 3 It' s Always Sunny in Space!		期末考査
	7月			
2 学 期	8月	Lesson 4 Malala: Fighting for Women' s Rights	16歳のマララが国連の壇上から世界に向けてどんなメッセージを発信したのかを学びます。 富士山の世界文化遺産登録について考え、富士山の持つ文化的価値について学びます。 『きかんしゃトーマス』とSDGsの関係について学びます。 日本の輸入食品がいかに廃棄され、仮想水も無駄になっているか等、水に関する問題について考えます。	中間考査
	9月	Lesson 5 Mount Fuji		
	10月	Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs		
	11月	Lesson 7 Virtual Water		期末考査
	12月			
3 学 期	1月	Lesson 8 Wearable Robots May Change Our Life	ロボットHALについて学び、日本の高齢化が進み出生率が低下することで起こりうる問題を考えます。 バイオミミクリーについて学び、自然の産物を使うことでどのような利点があるかを考えます。 ドナルド・キーンが世界に日本文学を紹介するのにどのようなことをしたかを学びます。	学年末考査
	2月	Lesson 9 Biomimicry - Inspired by Nature		
	3月	Lesson 10 Donald Keene and His Love of Japan		

学習	事前に配られたプリントを用いて、教科書本文の内容を予習します。まず辞書を使わずに大まかな内容を掴み、その後新出の単語や表現、文法に気を付けながら内容理解を深めます。授業では、教員の解説により細部の表現や内容を確認します。そして、音読活動や本文の内容を基にした表現活動 (Show and Tellやスピーチ) を行い、できるだけ多く英語を話したり聞いたりします。また、毎回授業の始めに英単語テストを実施し、英文を理解するのに必要な語彙力を身に付けていきます。
----	---

評価の仕方	以下の4つの項目から総合的に評価します。 1 定期考査【知識・技能、思考・判断・表現】 2 課題 (予習、週末課題、訂正ノートなど) への取組状況【主体的に学習に取り組む態度】 3 小テスト (英単語テストなど) 【知識・技能】 4 コミュニケーション活動 (Show and Tell、エッセイライティング等) 【思考・判断・表現】
-------	---

備考	
----	--